

平成 18 年度地盤情報データベース作成委員会報告会

—4000 本のボーリングデータと AT 火山灰層データからひもとく近江盆地の地下構造—

共催：関西地質調査業協会・(独) 産業技術総合研究所

後援：日本応用地質学会関西支部

日本情報地質学会

日本地質学会近畿支部

地盤工学会関西支部 (予定)

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

地盤情報データベース作成委員会は(独) 産業技術総合研究所と共同研究のもとで、奈良盆地地盤および滋賀地盤のデータベース化と地盤図作成に関する研究を行って参りましたが、前回の報告会(平成 17 年 6 月)以降、関係者のご協力により琵琶湖周辺地域において約 4000 本のボーリングデータと AT 火山灰層に関する新たなデータを取得することが出来、その結果

①古琵琶湖層群より上位の第四紀層(上部更新統～完新統)の分布構造と生成年代、②近江盆地での堆積構造の地域別特徴、③地形の形成過程とそれに特徴的な堆積物、④琵琶湖東西両岸での AT 火山灰層の分布深度の特徴、⑤琵琶湖西岸断層帯と堆積構造の関連性における特徴、⑥堆積層の工学的特徴

などについて一定の成果を得ることができたので、この成果の報告会を開催し、地盤に係わる技術者・研究者の方々との議論の場を設けさせて頂くことと致しました。また、今回は強振動の予測の世界で第 1 人者であられる入倉孝次郎先生をお迎えし、下記のテーマでご講演を頂くことになっております。

奮ってご参加下さいませようお願い申し上げます。

.....

日時：平成 19 年 6 月 1 日(金) 13:00～17:00

場所：大阪市立大学文化交流センター・大ホール(大阪駅前第二ビル 6 階)

(地下鉄御堂筋線「梅田駅」、同四つ橋線「西梅田駅」、同谷町線「東梅田駅」より南へ徒歩で約 10 分)

プログラム

12:00～13:00 受付

13:00～13:10 開会挨拶(関西地質調査業協会 理事長)

13:10～13:25 報告会開催の経緯(村橋 吉晴 (株)エイトコンサルタント))

13:25～13:40 近江盆地の地形と地質(矢野 晴彦 (明治コンサルタント(株)))

13:40～14:10 近江盆地の地質と構造の地域別特徴(同上)

14:10～14:20 近江盆地での特徴的堆積物(小松原 琢 ((独) 産業技術総合研究所))

14:20～14:35 琵琶湖周辺地盤の物性の特徴(木村 浩 (株)国土建)

14:35～14:50 奈良盆地地盤について(村橋 吉晴 (株)エイトコンサルタント)

14:50～15:00 休憩

講演

15:00～15:50 近畿の土木技術四百年の宿題～「軟弱地盤都市」の成立と災害対策

講演者：小松原 琢 ((独) 産業技術総合研究所)、西山昭仁 (大谷大学)

特別講演

15:50～16:50 地盤情報を活かした地震動予測

講演者：入倉孝次郎 先生 (愛知工業大学地域防災研究センター客員教授、京都大学名誉教授)

16:50～17:00 質疑応答

17:00～17:10 閉会挨拶 地盤情報委員会 委員長

.....

・参加費：2,000 円(当日会場にてお支払い下さい)

・参加申込み：事務処理に必要なため、5 月 20 日までに、氏名、所属、連絡先(TEL、メールアドレス)等を添えて下記に申込み下さい(複数名の申込み可)(なお当日の直接参加も受け付けます)

・申込み先：関西地質調査業協会・18 年度報告会係

FAX 06-6446-0609 メールアドレス kstisitu@gold.ocn.ne.jp